

ラグビーで交流深める

流经大で ドラゴンズ・キッズ

流通経済大ラグビー部OBらが中心となるNPO法人クラブ・ドラゴンズは17日、龍ヶ崎市の同大ラグビー場で「ドラゴンズ・ラグビー・キッズ2008」を開催した。

イベントは昨秋に続いて4回目。前回同様、園児、小学生、中学生の学年別にチームを編成し、交流試合を行った。特に今回は千葉県銚子市の銚子RFCと、同八千代市にある八千代RFCの県外2チームが参戦したほか、女性チームドラゴンズ・ガールズと八千



ドラゴンズ・ガールズ—八千代レディースの一戦
=流通経済大

代レディースの交流戦が生まれ、タッチラグビー形式での対戦が実現。ギャラリイが黄色い声援ならぬ野太い男性陣の声援で埋まり、

大いに盛り上がった。タッチラグビーとはタックルのないラグビー。激しいぶつかり合いはないが、参加者の中には学生時代にラグビーを体験したプレーヤーもおり、思いのほか本格的。「ドラゴンズの女性チームの活躍にも注目して」と松尾さん。

一方、フィールドの一部を使用して行われた園児の部では、プレーする子ども以上に熱心な親の応援が目立った。あどけない子どもたちがボールとたわむれると、その都度大

きなため息とはしゃぎ声があふれた。事務局代表の松尾勝博さんは「これからも、クラブ・ドラゴンズラグビーのすそ野を広



園児の部、ドラゴンズ—八千代RFC

げていきたい。今回は千葉県だったが、今後も他県とも積極的に交流試合を行っていく」とイベントの盛り上がりを楽しんだ。

午後からは、昨秋設立した地元の中学生チーム、南茨城チームが千葉中央チームと対戦。20分ハーフの交流試合が行われ、催しの最後を締めくくった。

南茨城チームは、3月に行われる関東大会に向けて目下猛練習中。本番に向けた、最終調整を兼ねる大事な一戦となった。

(大村寛)